



ゼビオカップ キッズサッカー 2019 THE SUPER XEBIO フェスティバル

写真館

フェスティバル模様は、岩手朝日テレビで 8 月 3 日(土)午後 14 時 05 分から放送されます。

日 時: 2019 年 7 月 6 日(土)~7 日(日)
会 場: いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)
主 催: 公益社団法人岩手県サッカー協会／公益財団法人盛岡市体育協会
共 催: 株式会社岩手朝日テレビ
主 管: 公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員会
後 援: 岩手県教育委員会／盛岡市／財団法人岩手県体育協会
特別協賛: [ゼビオ株式会社](#)
協 力: ミズノ株式会社、株式会社グルリット
大会ゲスト: 平瀬智行さん(元サッカー日本代表、現ベガルタ仙台クラブコーディネーター)
参加者総数: 1,192 名 (U-10 64 チーム 841 名、U-8 46 チーム 351 名)
運営スタッフ: ユース審判・チーム帯同審判、キッズ委員会キッズスタッフほか

1 日 目 ◆7 月 6 日 (土)

- ・U-10 の部 予選リーグおよび決勝トーナメント進出決定戦 (8 人制ゲーム、64 チームを 16 グループ分け、グループ上位 2 チームが 2 日目の決勝トーナメント進出決定戦を行う)

U-10 開会式の様子(写真提供(株)グルリット)



U-10 試合の様子(写真提供(株)グルリット)



2日目 ◆7月7日(日)

- ・U-8 の部 リーグ戦 (5 人制ゲーム、46 チームを 11 グループ分け)
- ・U-10 の部 決勝トーナメント

U-8開会式閉会式の様子(写真提供(株)グルリット)





U-8 試合の様子(写真提供(株)グルリット)



U-10 決勝トーナメントの様子(写真提供(株)グルリット)





U-10 表彰・閉会式の様子



●参加者・保護者・指導者から寄せられた主な意見・感想

- ・楽しいです。(グルージャ盛岡 参加者)
- ・試合中のアナウンスは控えた方が良いです。
- ・参加させていただきありがとうございました。普段対戦できないチームと一緒にでき、また子どもたちも得点・アシストもたくさんでき、楽しかったようです。危険なプレーをする子への注意は必要だと思います。(U-8 保護者)
- ・普及年代の取り組みとして素晴らしい大会だと思います。一部のチームスタッフの過度なコーチング(暴言)に大会パンフ等で働きかけるのも良いかと思います。(MIRUMAE FC・Z 指導者)
- ・子どもたちが楽しくサッカーに取り組んでおり、継続した事業の取り組みをよろしくお願いします。(FC Grows 指導者)
- ・楽しく参加できました。(FC Grows 指導者)
- ・試合進行がスムーズで良かったです。(U-8 指導者)
- ・楽しく、笑顔でサッカーする子供を見られて良かったです。このような「楽しむ」サッカーの機会をもっと作ってほしいです。ありがとうございました。(U-8 大船渡三陸FCシーガル 保護者)
- ・子どもたちの声掛けをしっかりと、チームワークを一つにするのが大切だと感じました。同学年のチーム同士の試合だったので、チームの今後の課題、反省点なども改めて知ることができました。ゼビオカップの盛り上がりが子どもも大人も楽しめたと思います。もっと試合が見たかったです。(U-8 釜石ロビン 保護者)
- ・楽しみました。(U-10 東山FC 指導者)
- ・本部、スタッフの方、運営お疲れ様です。十分満足しています。今後もよろしくお願いします。登録枠を増やしていただきたいです。(飯豊FC)
- ・とても頑張って、皆がボールを追いかけている姿がキュンときました。とても会場が綺麗で良かったです。またぜひ参加したいです。(釜石ロビン 保護者)
- ・ゼビオカップが楽しかったです。(参加者)
- ・楽しかったし、キーパーでボールをとれて良かったです。(花巻銀河FC 参加者)
- ・初日に時間が押してしまうことがありましたが、運営スタッフさんの対応がよく、全体をうまくコントロールしていたように感じました。参加させていただき、ありがとうございました。(U-10 FCサンアルタス大船渡 指導者)
- ・2勝1敗だったけどチームで力を合わせて2勝して嬉しかったです。(MIRUMAE FC・Z 参加者)
- ・各コートでスタートが違っていたので、コート付きのスタッフの役割が分からなかったです。
U-8 に審判は必要ないと思います。もしくは、コート付のスタッフが審判の役割をしてもいいと思います。

- ・4年生以下の大会はなかなかないので、今後も継続して開催してほしいです。
- ・毎年、選手への貴重な経験の場を与えていただき、感謝いたします。試合数も多く、全員にチャンスを与えられていいと思います。(ヴェルディSS岩手 指導者)
- ・あと2試合増やしてもいいと思います。(水沢UFC 保護者)
- ・見ている側としては、試合時間もちょうどよく見やすかったです。皆が一生懸命に頑張っている姿が頼もしくかつよかったです。(MIYAKO SC 保護者)
- ・毎年参加させていただいておりますが、低学年からの大会で他地区のチームと試合交流ができてとてもありがたいです。これからもこの大会が続くようによろしくをお願いします。ありがとうございました。(宮野目SSS 指導者)
- ・たくさんのチームが参加する、U-10 の注目される大会なので子どもたちも父兄も楽しめました。グラウンドも整備されているので気持ちよくプレーできると思います。(前沢 Jr サッカースポーツ少年団 保護者)
- ・U-8 の試合はあまりないので、子どもたちもとても楽しみに当日を迎えました。ボールに集まり、団子サッカーではありましたがどの子も笑顔いっぱいでした。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。(紫波キッズ 保護者)
- ・今年も開催していただき、ありがとうございました。たくさん子どもたちが集まり、お互いに刺激になったと思います。
- ・悔しかったこと、良かったことを反省し、またこれからにつなげていけたらと思います。悪天候の中ありがとうございました。(水沢イースト 指導者)

●運営スタッフから寄せられた主な意見・感想

- ・しっかりとした運営に、熱い闘いが見られたので、良かったです。また、審判のよい経験にもなりました。(審判)
- ・小学生が天然芝の上でサッカーをやるのは素晴らしい機会だと思うので、ぜひ長く続いてほしいです。
今回初めて8人制サッカーの主審をし、とてもいい経験ができました。子どもも、大人も笑顔でいいサッカーライフを送られていて、素晴らしい大会に携われて良かったです。(水沢高校 審判)
- ・今回初めてゼビオカップの補助をして、いつもと違う雰囲気にもあまりなじみずおどおどしてしまいましたが、たくさんの大人の方が細かく的確に指導を下さったおかげで、失敗もたくさんしてしまいましたが、しっかり仕事をすることができました。この体験の中で、対応力を上げられて、自分の中で成長を感じられたので良かったです。2日間楽しく有意義に仕事ことができました。本当にありがとうございました。またよろしくお願いします。(盛岡誠桜高校マネージャー 高校生スタッフ)
- ・去年から高校生スタッフとして大会のお手伝いをしています。会場アナウンスのお仕事はなかなか経験できないことなので、とても貴重な体験になりました。また、小さい子どもたちの頑張っている姿を見ると自分も頑張ろうという気持ちになりました。子どもたちの笑顔に元気をもらえました。毎年この大会のお手伝いができることが楽しみです。
とても素敵な方々がスタッフとして運営しているこの大会はとても素敵な大会だと思います(盛岡誠桜高校マネージャー 高校生スタッフ)

【2日間を終えて】.....

<フェスティバル責任者(工藤愛知)のコメント>

県内多数の参加ありがとうございました。

U10 は、真剣勝負の試合が続き、プレイヤーだけでなく、ベンチも応援も熱のこもった素晴らしい試合がたくさん見られました。ゴールデンエイジの準備段階として、沢山のチャレンジや成功、失敗から多くの事を経験する事が大切なこの年代。指導者や関わる大人の声掛けは非常に重大で、難しいですよね。今大会では、指導されている皆さんの子供に対する愛情を沢山感じる事が出来ました。時には厳しい口調もありましたが、プレイヤーを「褒める」「尊重する」「導く、促す」といったポジティブな声が多くベンチから飛び交っていました。

U8 は、大人から見れば楽しむ要素が強いのですが、子供達にとっては真剣勝負で、必死にゴールに向かう姿やボールを奪いに行く姿は見ていて清々しく感じました。活躍する子とそうでない子でボールに触れる回数に大きな差があった事は課題で、本来、ボールに沢山触れなければいけないのは、なかなか活躍出来ない子です。そこを関わる大人が上手くコントロールする事が必要ですし、そこには失敗が付き物なので、そこに対するフォローも大切で難しいです。

応援している家族の皆さんは U8 も U10 も同様に試合終了後、両チームに対して心のこもった拍手を沢山して頂き勝ったチームは誇らしげに、負けたチームは気持ちを切り替えて、次の試合を前向きに入る事が出来ました。観客席に向けて何回かグリーンカードを出させて頂きました。暖かい応援ありがとうございました。

最後に今大会の大成功を支えて下さった関係各社の皆様、協会スタッフの皆さんに心より御礼申し上げます。

＜キッズ委員会審判部代表（内田将裕）のコメント＞

ここ何年か続けて、審判部という目線で大会に参加させていただいています。

今回は、ユース審判(高校生7人)と大学生2人の若い力の協力をいただきました。

ユース審判の中には、昨年度に引き続き今年度もお手伝いいただいた方もいり、キッズ年代の大会の魅力を感じたり、ボランティアとして関わる気持ちを育む意味でも、いい経験が出来る場だと思っています。

今年は、開会式の間でも、岩手県サッカー協会佐藤訓文会長の暴言・暴力の撲滅に加えて、審判部からも以下の3点についてお願いしました。

- ①参加する子どもたちは、たくさんグリーンカードをもらえるように、フェアプレーを心がけること
- ②指導者も、チャレンジすることを大事にし、失敗を責めないこと
- ③観客席の保護者も、一生懸命のプレーを認め、自分のチームに加えて相手チームのプレーにも温かい声援をおくること

キッズ年代の大会ということもあり、あえて言葉にし、大会に集まった全員が同じ気持ちで、お互いをリスペクトする大会にしようということをお願いしました。

試合中に転んだ子を起こしてあげた子や、相手ボールになったものを走って拾いに行った子、そしてPKのミス进行してあげる子など、グリーンカードに値する場面をたくさん見ることが出来ました。今後も、このキッズの大会は、グリーンカードあふれる、お互いをリスペクトする大会として続けていければと思います。

＜ユースダイレクター（鳴尾直軌）のコメント＞

気持ちの良い青空の下、素晴らしいグラウンドで子供たちはみんな一生懸命にボールを追いかけて、満面の笑みでサッカーを楽しんでいました。その姿に観戦された保護者の皆様もドキドキワクワクされたのではないのでしょうか。

U8は元気いっぱいみんなでボールに集まり、ぶつかったり転んだりもしましたが、それでもみんな楽しくサッカーができました。U10は真剣勝負の中で、チームのみんなで喜んだり、悔しがったり、泣いたり楽しさの中にも気持ちが伝わるプレーが見られ、たくさんの感動をもらいました。子供達にはこの経験を活かし大きく成長してほしいと思います。そして、この大会がもっとサッカーを大好きになる機会になることを願っています。

多くの皆様の支えがあり大成功で終わることができました。関係者の皆様心よりお礼申し上げます。

【編集】蝦名浩明(県協会事務局)